

外国人住民のための防災訓練を三豊市で開催しました!!

実施日：平成28年1月31日(日) 於：三豊市危機管理センター

主催：香川県・(公財)三豊市国際交流協会、協力：三豊市・三豊市防災士会・三豊警察署・三観広域行政組合北消防署

外国人住民のための 防災訓練

参加者：3か国(中国・ベトナム・カンボジア) 31名

○三豊の災害を知ろう



技能実習生の方がほとんどでした★

どんな災害がおこるのかな? 地図で避難所の場所を確認!

○避難所を体験しよう①

(起震車での地震体験、ダンボールパーテーション設置、担架づくり、AED操作、応急処置、非常食試食など)



震度7の地震を体験! 東日本大震災紹介パネル 毛布で担架を作る

災害時における 多言語情報伝達訓練

参加者：30名

(行政・団体職員、地域日本語指導ボランティア・通訳等ボランティア)

○講演「多言語支援センターの役割について」
(特活)多文化共生マネージャー全国協議会理事の柴垣さん、事務局長の時さんから、お話をうかがいました。



○多言語支援センター設置運営訓練

災害本部から出された情報の中から、被災者にとって必要と思われるものに優先順位をつけて、多言語での翻訳にあたりました。また、地図を見ながら避難所までの経路を確認したりしました。



●共通訓練<<避難所巡回訓練>>●

三豊市で災害が発生し、外国人住民が避難所に避難しているという設定のもと、参加者全員で行いました。

○避難所を体験しよう②

【外国人参加者の役割】避難所に避難している外国人被災者役。多言語支援チームの巡回時に、それぞれの国の言葉で質問したり、相談したりします。



一生懸命、私たち外国人のために準備してくれたんだな～



○避難所巡回訓練

【支援者の役割】外国人被災者が避難している避難所を巡回し、必要な情報を多言語で提供したり、外国人被災者が抱える問題のへ対応を行ったりします。



身振り手振りで伝えてみよう!

記録も大事!



○防災の日本語講座

災害が起きたときに、命を守るための正しい行動がとれるよう、気象警報・注意報や、携帯の緊急速報メールを題材として、漢字や語彙を学ぶ日本語講座を実施しました。



ゲーム感覚で練習～

参加者アンケートより

- ・今日初めて地震を体験しました。とても怖かったです。今回の経験があるので、本当の地震がきてもあまり緊張しなくて済むと思います。(中国)
- ・今日勉強した知識を、人に伝えたいと思いました。(中国)
- ・このようなイベントをしてくれたのは、外国人の命も大切に思っているからだだと思います。心から感謝しています。(中国)
- ・たくさん難しい漢字を勉強しましたが、とても面白かったです。(ベトナム)
- ・たくさんのことを勉強しました。地震が起きたらどこに逃げたらよいか分かりました。(ベトナム)
- ・こんな訓練に参加したのは初めてです。とても嬉しかったし良かったです。(カンボジア)
- ・今回の体験と交流が大好きです。(中国)
- ・…非常食はどの国の方にも好評でした!



○避難所巡回訓練振り返り

それぞれのグループで、活動の感想や反省点などを話し合いました。外国人被災者からの質問の意図を理解した上で、正確な情報を様々な言語や手法で伝え、少しでも安心を届けられるようにするためには何が必要か、みんなで考える時間となりました。また、記録をもとに、次に活動するボランティアへの申し送りの練習も行いました。

参加者アンケートより

- ・こういう訓練を通してネットワークを築いていければ、香川県という地域の対応力がアップしていくと思いました。(行政職員)
- ・支援する側からの思いだけでなく、受ける側の思いも感じながらの支援が必要だということを実感しました。(行政職員)
- ・想像以上の様々な質問が出てきて、自分の無知さを感じた。日頃から情報を収集していきたい。(ボランティア)
- ・自分を外国人に置き換えて考えてみると、言葉の不自由による不安は想像をはるかに超えると思う。相手の立場に立った取組を行いたい。(行政職員)
- ・日本人にとっての当たり前は当たり前ではないことを実感しました。(団体職員)

今年度も県内のどこかで訓練を実施したいと考えています。関心をお持ちの方は、災害時外国人支援担当までお問い合わせください。